Energia

報　道　資　料

平成15年10月14日
中国電力株式会社

島根原子力発電所1号機 燃料集合体のスペーサのずれについて

島根原子力発電所1号機は，現在実施中の第24回定期検査において燃料集合体の目視検査を行っておりますが，本日，1体の燃料集合体のスペーサ（注）が正規の位置からずれていることを確認しました。

スペーサは燃料集合体1体に7個取り付けられており，今回不具合が見つかった燃料集合体のスペーサは，7個のうち上側の5個が正規の位置からずれていました。（最大ずれ幅　約1.9m）

今後詳細な調査を実施する予定です。

この事象による燃料棒の破損および周辺環境への影響はありませんでした。

なお，今回不具合が見つかった燃料集合体は原子炉で使い終わった燃料であり，原子炉内に再装荷する予定のものではありません。

（参考）

注　スペーサ

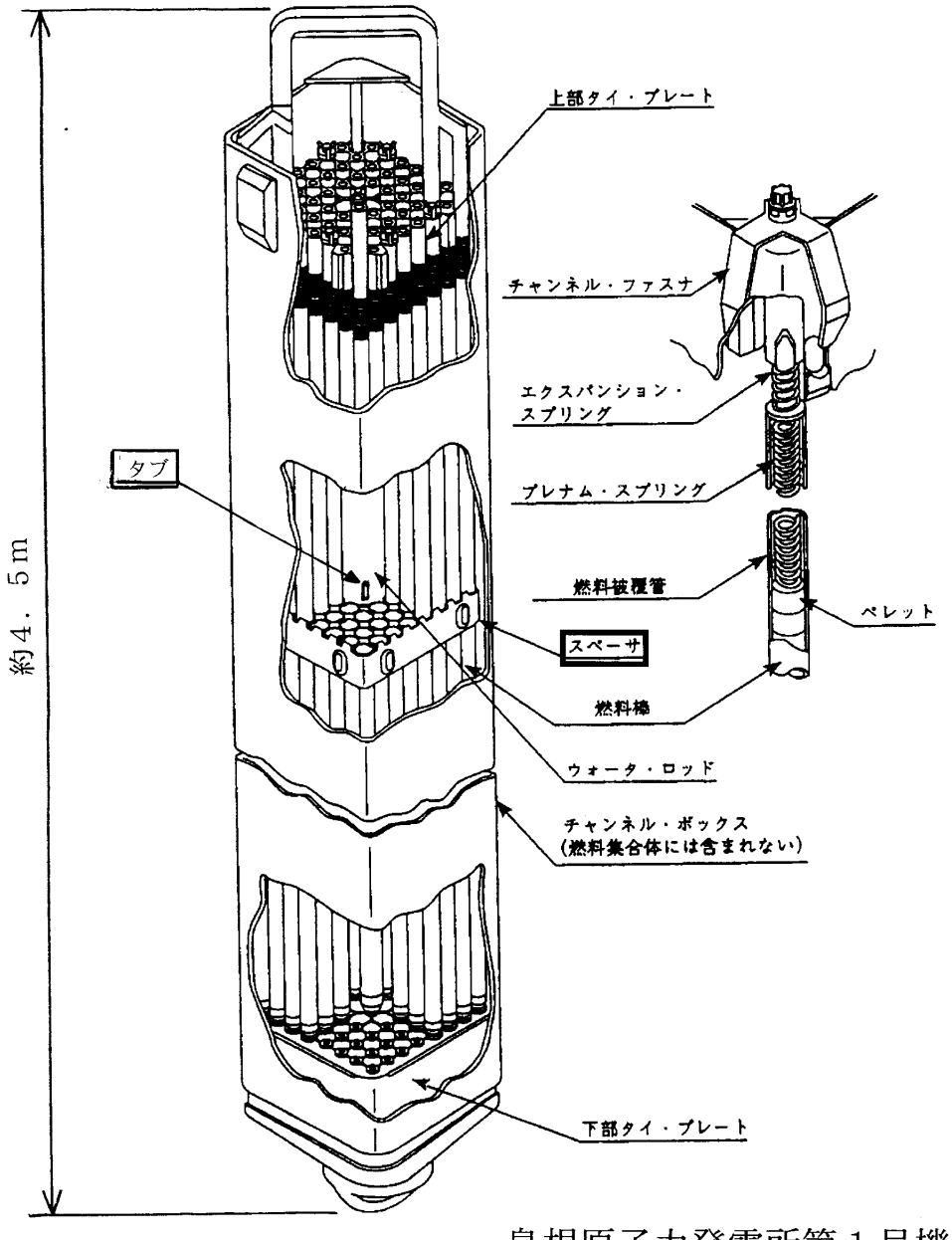
燃料棒と燃料棒の間を定められた間隔に保つために取り付けられている部品。

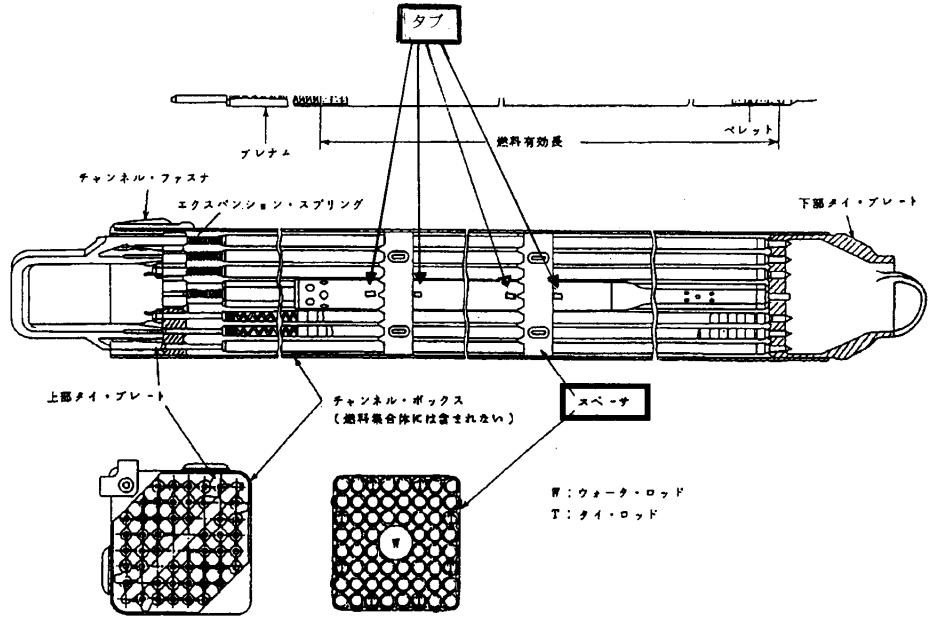
以上

添付 1　島根原子力発電所第1号機　高燃焼度8×8燃料概略図（PDF:49KB）

添付 2　スペーサのずれの状況（PDF:33KB）

注　このPDFファイルをご覧になるには Acrobat Reader4.0以上が必要です。

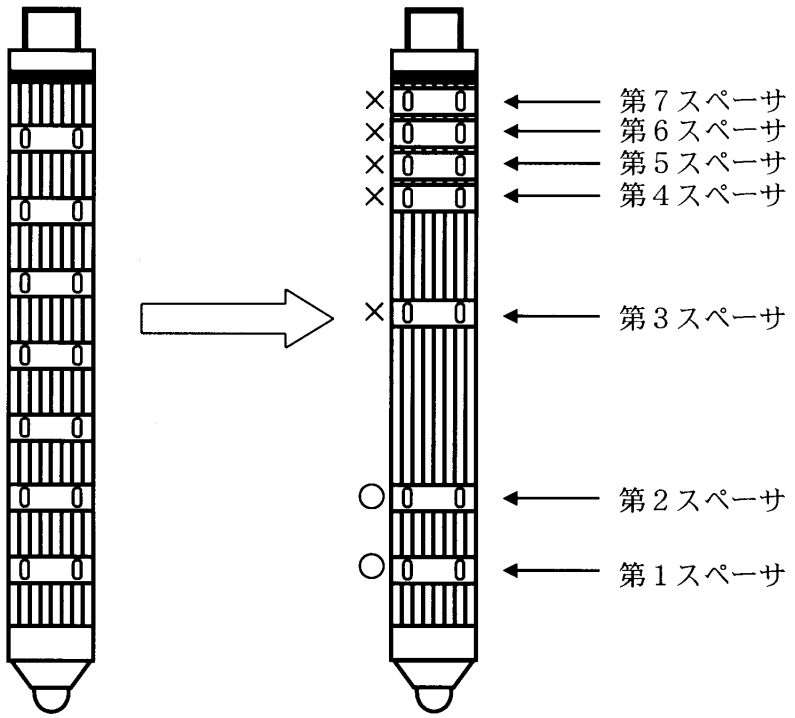




島根原子力発電所第１号機　高燃焼度８×８燃料概略図

添付 1

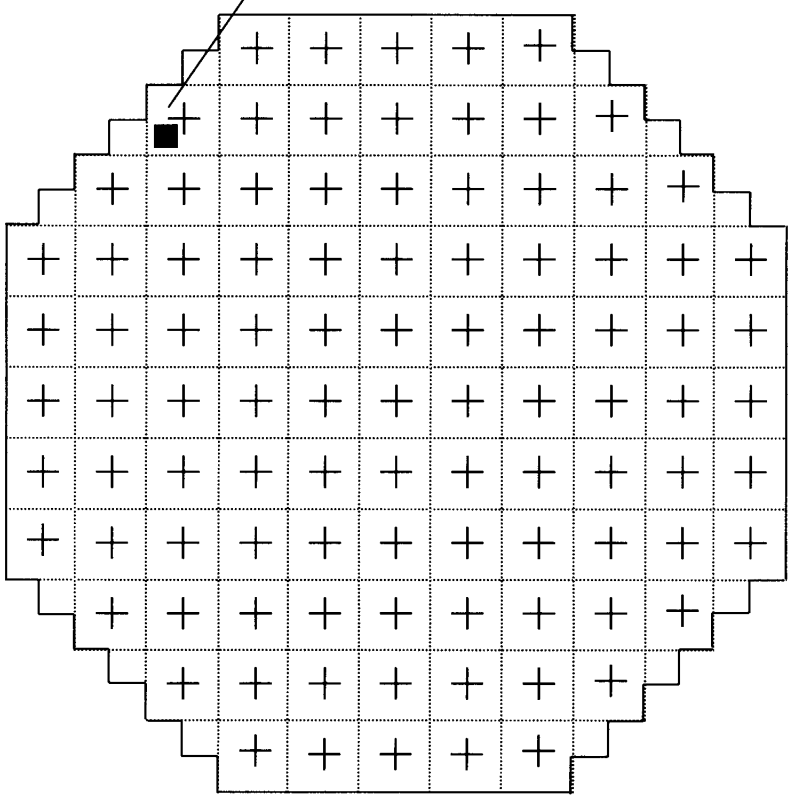
スペーサのずれの状況



×：ずれのあったスペーサ

○：正規の位置にあったスペーサ

第２４回運転サイクル（Ｈ１４．７～Ｈ１５．９）炉心装荷位置



＋：制御棒